

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかった
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



「コロナ」に注意し「まちかどカフェ第5弾」開催

病院跡地新計画 報告と懇談

「検査、24時間、外来診療科の充実を」

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、兵庫県では35人の感染が確認された7月23日に「感染増加期」と位置付けた県民への協力要請を発表しました。引き続き3密を避け感染予防に取り組むとともに、集中豪雨や台風などによる被害が起これないようにと願うばかりです。
6月24日〜7月5日に開いた「まちかどカフェ第5弾」の報告をします。

22ヶ所、130人参加で

「まちかどカフェ」は、屋内での議会報告に代わって定期的に開催しています。今回は第5弾、北陵・東谷・大和地域の22ヶ所で開き、延べ約130人が参加して下さいました。

「駐車場を使つて！」

炎天下やどしゃ降りの日もありましたが、豪雨の時には「駐車場を使つたら」とお声をかけて頂いたり、「追っかの報道。18日付の市ホームページ」で2ヶ所連続で来て下さったり、家の中で聴いていた療への新構想にむけてのメッセージとお伝え頂いたり...「ジ掲載でしか知ることができない地域の皆さんには本当に感謝しています。」の気持ちで一杯です。

「新病院跡地計画」軸に

今回は「新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除」と「新しい市の現病院跡地計画(診療所計画の変更)」のご報告に特化した形で実施しました。今井病院を誘致するなどの新計画は6月18日に議会で行われ、市民は翌19日付



(変更内容のパネルで説明・まちかどカフェ)

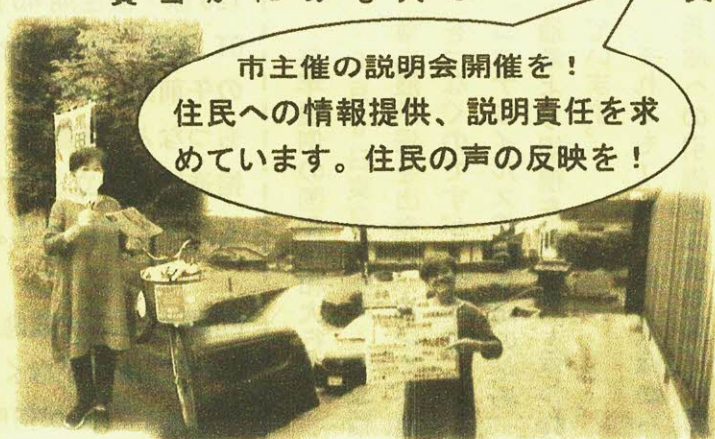
「市民と共に決めていく」

私たちは情報がなければ考えることができません。私(黒田)は、「たんぽぽだより6・7月号」を発行し、まちかどカフェではパネルを使って、計画変更の内容と何が問題・課題なのかを説明。来て頂いた方の「意見などを頂戴しました。」市は、「市民と共に決めていく」

としています。私たちの声や願いにより良い物をつくり上げることも可能です。声や願いをしっかりと届けましょうと繰り返しお伝えさせて頂きました。
たんぽぽだより213号では、市の計画変更の詳細を、今号では、北部医療の計画変更と問題点を整理したものをお伝えしながら、地域の声をまとめてみました。(裏ページもご参照ください)
入院施設歓迎...でも!
住民の皆さんの代表的な声は、○入院施設ができることは歓迎できる。ただし、回復期・慢性期ベッドの予定なので、手術はできないこと(二次救急病院ではない)。また、入院は、外来機能との関係があるので、新病院をすぐ利用できるか不安がある。
検査、24時間機能必要
○診療所計画がなくなり、外来診療科の確保や開業医誘致がどうなるのか不安。CT機器に加え、MRI機器も入れて検査態勢の充実を。24時間急病対応はなくすべしではない。どんだん北部医療が後退するのではない不安。
市の責任はどうなる
○公設民営だったものが民営になることで、市の責任はどのようになるのか。市が地域医療の確保に責任を持つべき。元々、診療所計画は市と協和会で実施するという契約です。協和会の責務と突き進むのではなく、ポストコロナ、ウィズコロナの時代に見合う政策転換をしていくことが必要ではないでしょうか。
命を守ることを、くらしを支えることを最優先にするべきと声をあげましょう。新計画に対する市民への情報提供と説明を早急に行うことが必要です。

総合医療センター(キセラ内)には、緩和ケア病棟がなく、人間ドッグなどの検査システムもなくなり、ベリタス病院の産科・小児科が来年3月閉鎖になることなど地域医療の後退が住民の不安につながることが当然です。民間任せにせず公的責任こそ果たすべきです。
産科、小児科...公で
市は、診療所建設のために8億1000万円の予算をたて、シャトルバスを運行し、近隣の総合病院にCT・MRI検査機器導入に向けた助成制度をつくることを提案していましたが、今後は北部医療の財源をしっかりと確保し、実行するべきです。

市主催の説明会開催を!
住民への情報提供、説明責任を求めています。住民の声の反映を!



豪雨災害被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます
東谷中学校区日本共産党後援会は、災害支援募金第1次分として27600円を振り込みました。ご協力ありがとうございました。引き続き取り組んでいますので、ご協力よろしくお願いたします。

